

## 歩掛参考見積募集要領

次のとおり歩掛参考見積を募集します。

令和8年9月9日

独立行政法人水資源機構  
木津川ダム総管理所長 竹内 宏隆

### 1. 目 的

この歩掛参考見積の募集は、木津川ダム総管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛を募集するものです。

### 2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和7・8年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、淀川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

### 3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な技術者の人数等を記載して提出してください。  
なお、参考見積書の様式は問いません。見積様式（例）を参考に作成してください。
- (2) 提出期間：令和8年9月15日（火）から令和8年9月17日（木）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、  
午前9時から午後5時まで
- (3) 提出先  
独立行政法人水資源機構 木津川ダム総管理所 所長 竹内宏隆 宛  
【担当】木津川ダム総管理所 経理課 坂尾（さかお）  
〒518-0413 三重県名張市下比奈知2811-2  
TEL 0595-64-8961 FAX 0595-64-8964  
メール nyukei\_kizuso@water.go.jp
- (4) 提出方法  
書面は持参、郵送、FAX 又はメール（社印があること）により提出するものとします。

### 4. 参考見積内容

- (1) 業務基本条件  
別紙「見積仕様書」のとおりとします。
- (2) 業務費の構成と歩掛見積徴取範囲
  - ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。

- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接人件費のうち、上記（１）「見積仕様書」の内容を実施する為に必要な技術者の人数、経費率等を徴取します。

（３）技術者の職種と定義

国土交通省が公表している「令和８年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

（４）見積有効期限

令和９年３月末までとします。

５．募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面（様式は自由）により提出してください。

- （１）提出期間：令和８年９月９日（水）から令和８年９月１１日（金）まで  
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前９時から午後５時まで
- （２）提出場所：３．（３）に同じ。
- （３）提出方法：３．（４）に同じ。

６．質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- （１）閲覧期間：令和８年９月１５日（火）から令和８年９月１７日（木）まで
- （２）閲覧方法：ホームページに掲載します。

７．参考見積書作成及び提出に要する費用

参考見積提出者の負担とします。

８．ヒアリング

提出していただいた参考見積書についてヒアリングを実施することがあります。

９．その他

この参考見積書をご提出いただいたことで、業務の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

# 初瀬取水塔コンクリート性状調査業務（仮称） 見積仕様書

## 第1節 業務目的

本業務は、初瀬取水塔（以下、取水塔という。）の耐震補強設計にあたり、機械ボーリングおよび室内試験（圧縮強度試験、静弾性係数試験、超音波伝搬速度試験、動弾性係数計測）を行い、コンクリート性状を確認することを目的とする。

## 第2節 業務場所

奈良県宇陀市榛原山辺三地内

## 第3節 作業条件等

### 3-1 計画準備

業務全般を把握し、調査内容の要点を整理・確認の上、業務計画書を作成するものとする。

### 3-2 現地踏査

初瀬取水塔のコア採取に先立ち、取水塔の構造、周辺状況等を把握するために現地踏査を行うものとする。

### 3-3 コア採取

取水塔の側壁部から水平方向に、等間隔で直径 100mm、採取長 200mm/箇所のコアを採取するものとする。なお、側壁部は水面上の側壁部とする。

コア採取方法は、JIS A 1107「コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法」を適用する。ただし、「コア直径は、粗骨材の最大寸法の3倍以上をする。」は適用外とする。

コア採取時は、削孔水が貯水池に入らないように措置をとるものとする。

コア採取箇所は任意とするが、鉄筋探査により鉄筋位置を十分に確認した上で、鉄筋を損傷しない箇所を選定するものとする。また、ひび割れ等がある箇所は避けて採取する。取水塔の寸法等は、別紙「初瀬取水塔図面」のとおりである。

コア採取数は国際規格により、3箇所を予定している。

### 3-4 調査孔閉塞

コア採取箇所は、コア採取後に無収縮モルタルにて調査孔閉塞を行い、表面仕上げをするものとする。

### 3-5 貯水位

コア採取時の貯水位は、EL.287.00m を想定している。

### 3-6 試料作成

採取したコアの平滑面処理を行い、ひび割れ等がないか確認を行う。また、輸送時に損傷しないように養成を実施するものとする。作成方法は、JIS A 1107「コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法」を適用する。

### 3-7 室内試験

#### （1）圧縮強度試験

「コンクリートからのコアの採取方法及び圧縮強度試験方法」（JIS A 1107）により、コンクリート供試体の圧縮強度を求めるものとする。

(2) 静弾性係数試験

「コンクリートの静弾性係数試験方法」(JIS A 1149)により、コンクリート供試体の静弾性係数を求めるものとする。

(3) 超音波伝搬速度試験

「コンクリート構造物の弾性波による試験方法-第1部:超音波法」(NDIS 2426-1:2009)により、供試体内を通過する超音波の伝搬速度を計測するものとする。

(4) 動弾性係数計測

「共鳴振動によるコンクリートの動弾性係数、動せん断弾性係数及び動ポアソン比試験方法」(JIS A 1127)の縦振動により、コンクリート供試体の動弾性係数、動せん断弾性係数、動ポアソン比を求めるものとする。

## 第4節 見積対象

コア採取箇所へのアプローチは、(1) 吊り足場作業、(2) ロープアクセス作業の2通りを想定しており、それぞれの方法において必要な作業人数や機械経費等を計上するものとする。なお、見積りの提出は2つのアプローチを想定しているが、算出が厳しい場合、一部のアプローチのみの提出でもよい。イメージ図①②に代わる方法があれば、見積様式に行を追加して歩掛等を記載するものとする。

また、(3) 共通として、計画準備及び現地踏査の歩掛、調査孔閉塞、室内試験における試料作成費や試験費の単価を計上するものとする。

(1) 吊り足場作業

吊り足場を設置し、機械ボーリングを行うものとする(イメージ図①参照)。吊り足場は、第3節3-5における想定水位を考慮して設置するものとする。準備及び跡片付けは仮設費を含めるものとする。

- ・ 準備及び跡片付け (見積対象)
- ・ コア採取 (見積対象)

(2) ロープアクセス作業

ロープを使用し、機械ボーリングを行うものとする(イメージ図②参照)。ロープは、第3節3-5における想定水位を考慮した規格等を見積に含めるものとする。準備及び跡片付けは仮設費を含めるものとする。

- ・ 準備及び跡片付け (見積対象)
- ・ コア採取 (見積対象)

(3) 共通

共通項目は下記のとおりとする。

- ・ 計画準備 (見積対象)
- ・ 現地踏査 (見積対象)
- ・ 調査孔閉塞 (見積対象)
- ・ 試料作成費 (見積対象)
- ・ 圧縮強度試験 (見積対象)
- ・ 静弾性係数試験 (見積対象)
- ・ 超音波伝搬速度試験 (見積対象)
- ・ 動弾性係数計測 (見積対象)

## 第5節 留意事項

### 5－1 運搬機種

運搬機種について、作業で使用する機材（コアボーリングマシン、吊り足場、ロープ等）の重量及び現地条件を考慮して規格を記載する（例：〇t車（〇tクレーン付））。2つのアプローチで機種が異なる場合は、それぞれ記載する。

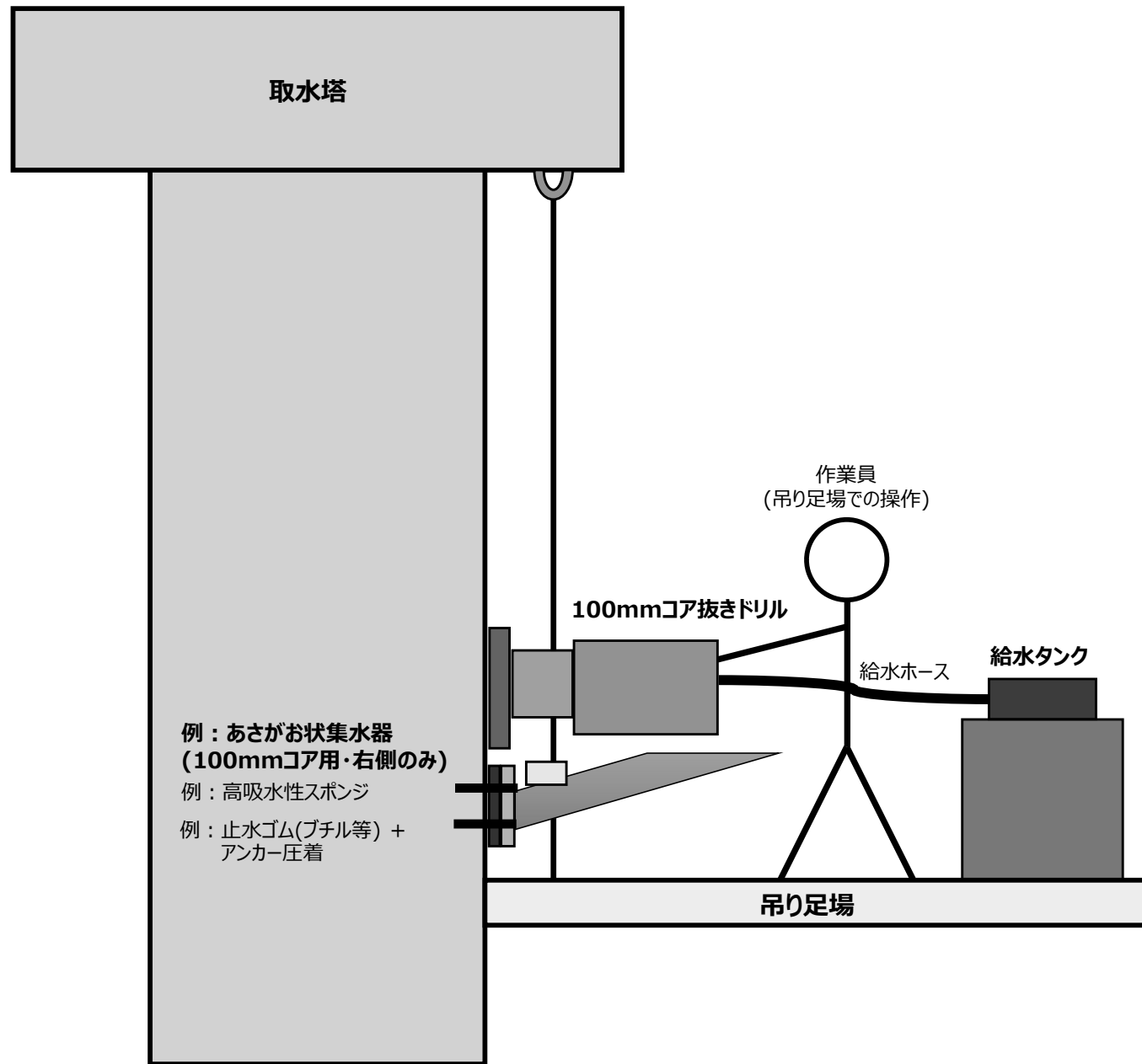
### 5－2 コア採取に使用する水や電力等

コア採取時に使用する水や電力等は受注者により準備するものとする。

以 上

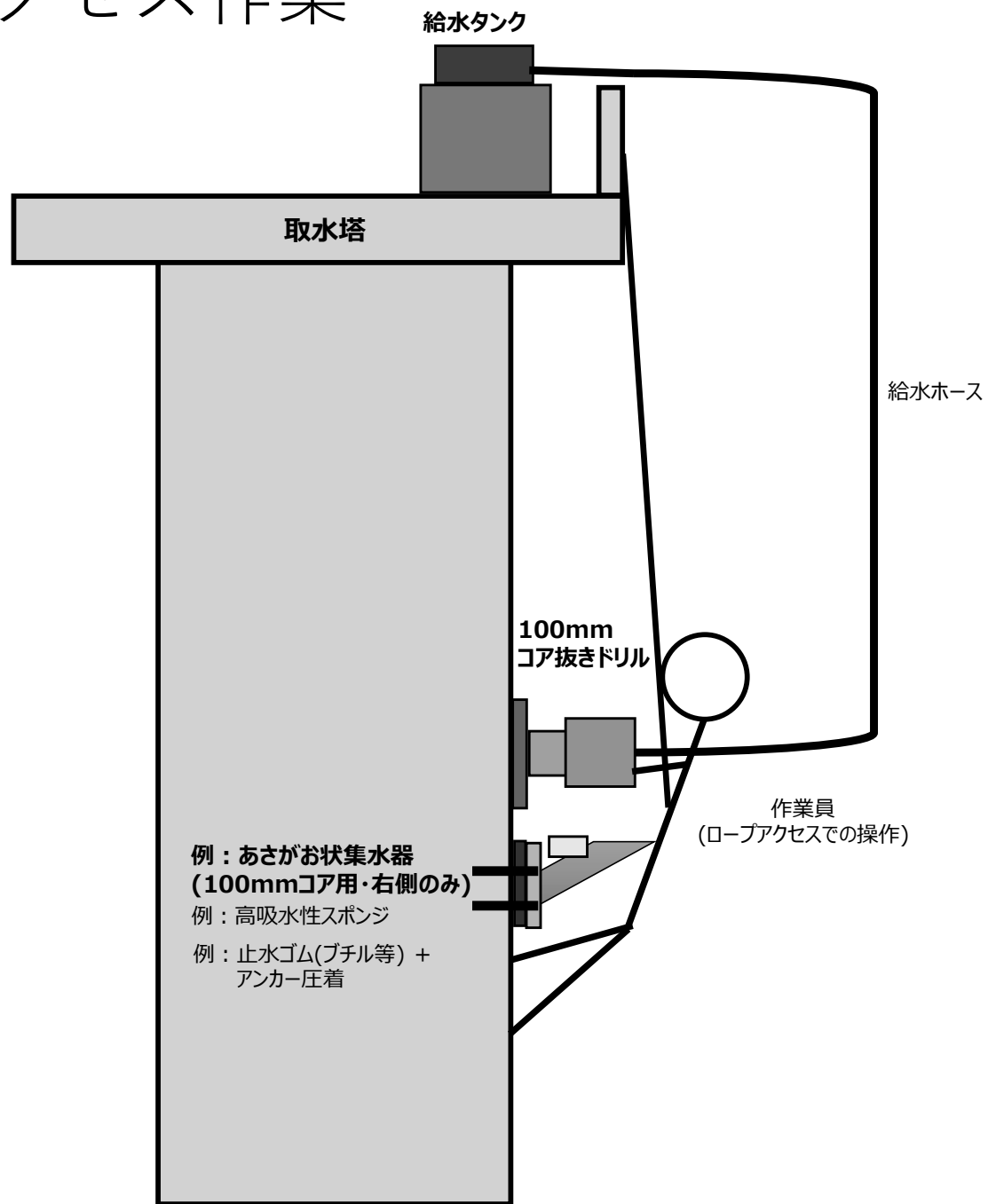
# イメージ図①

## 吊り足場作業

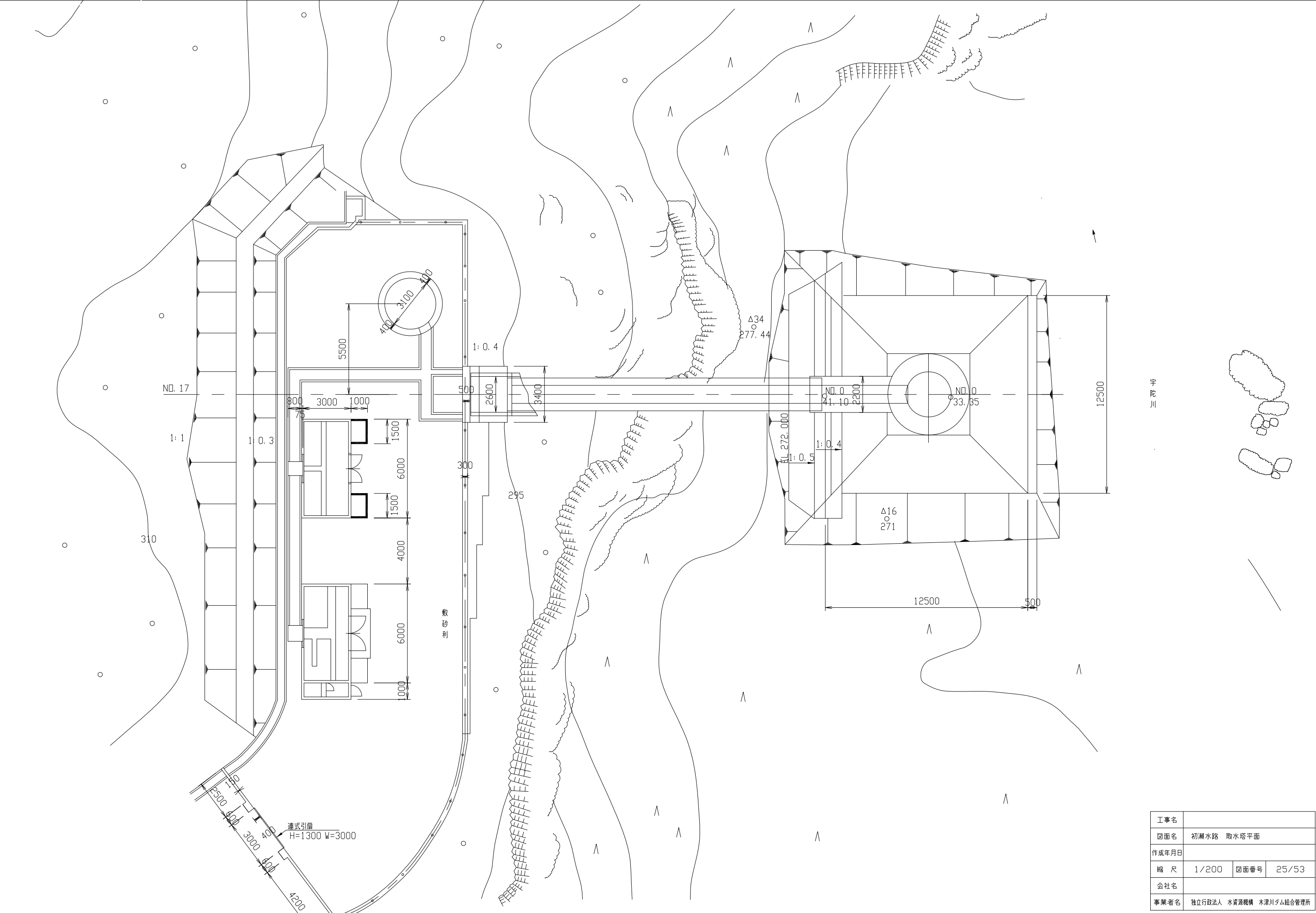


# イメージ図②

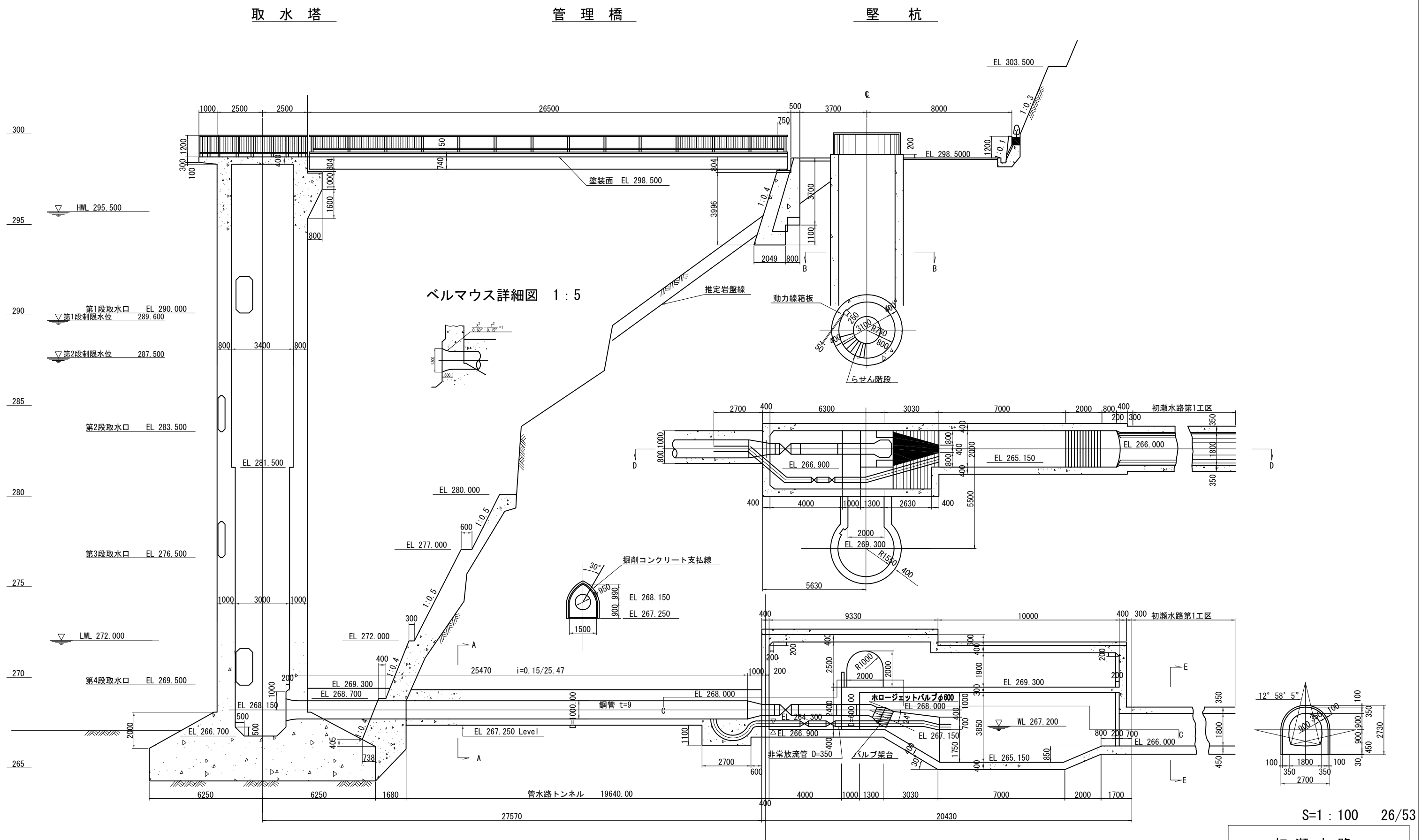
## ロープアクセス作業



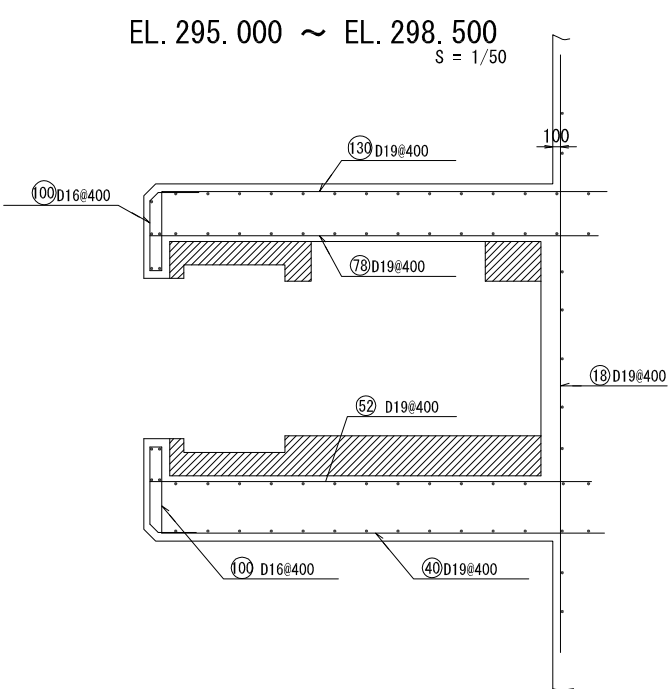
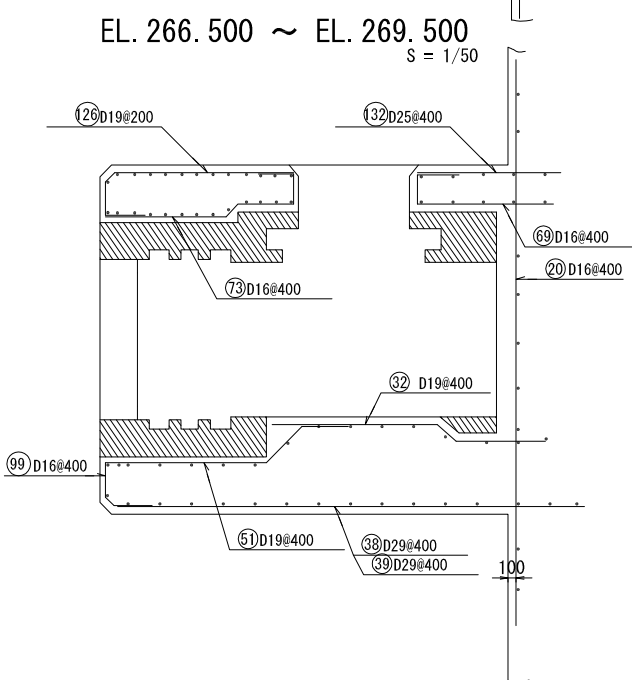
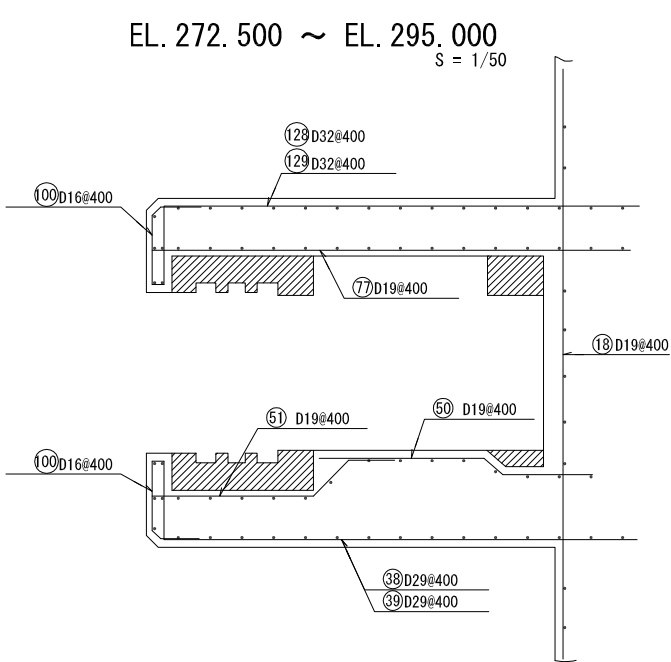
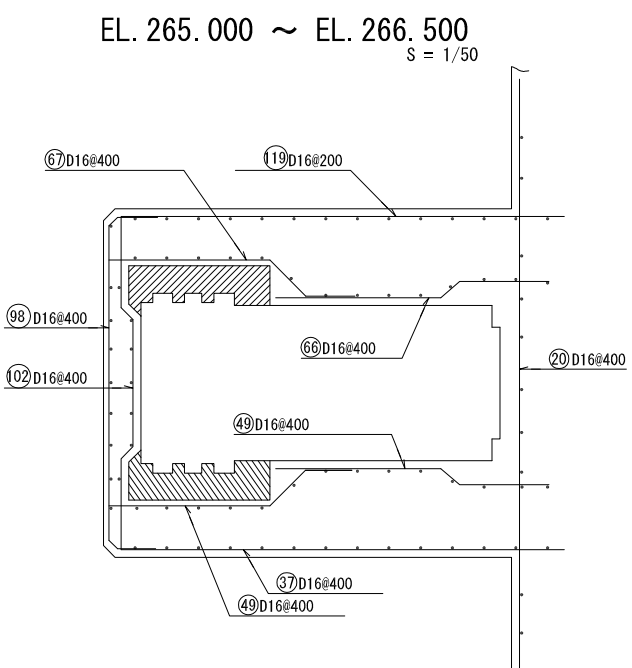
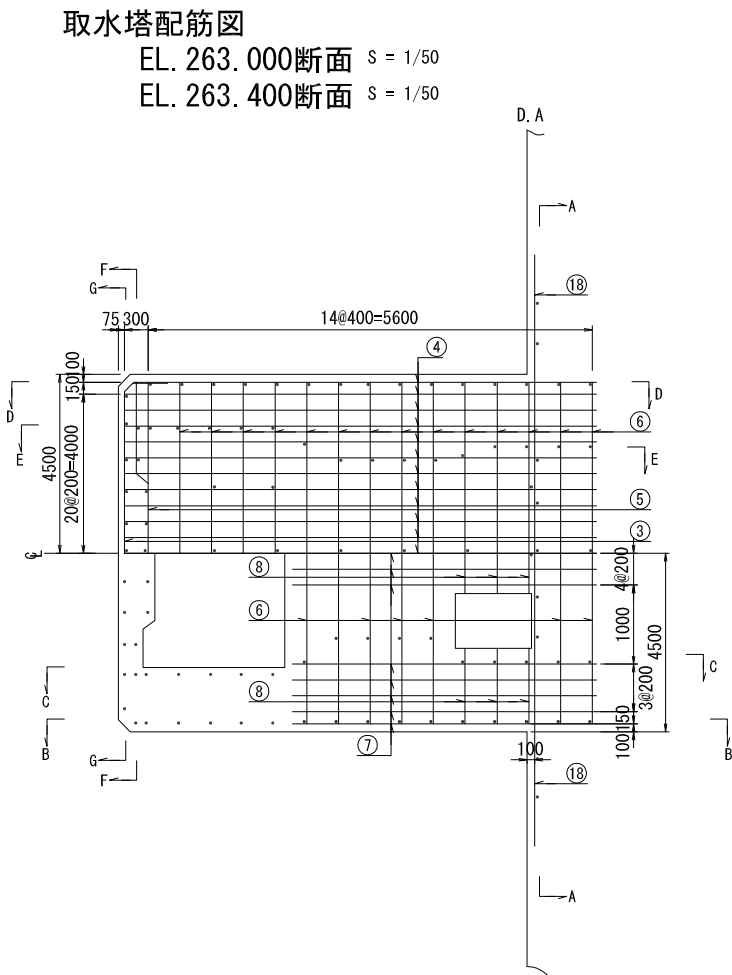
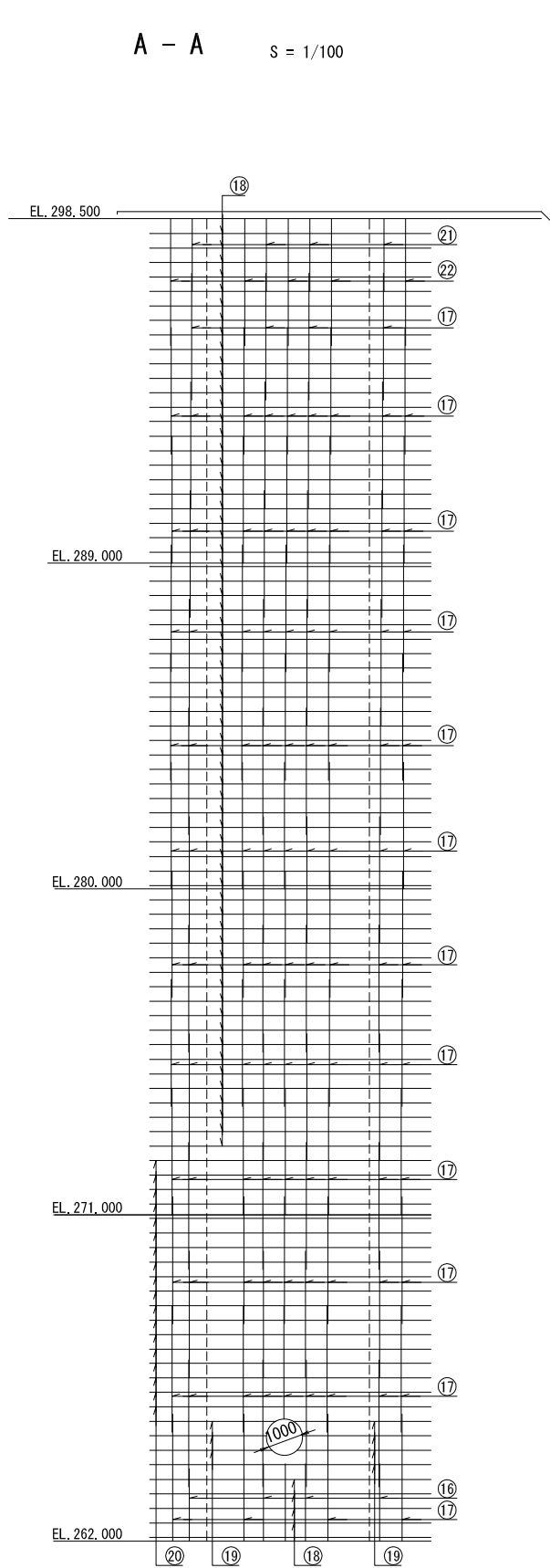
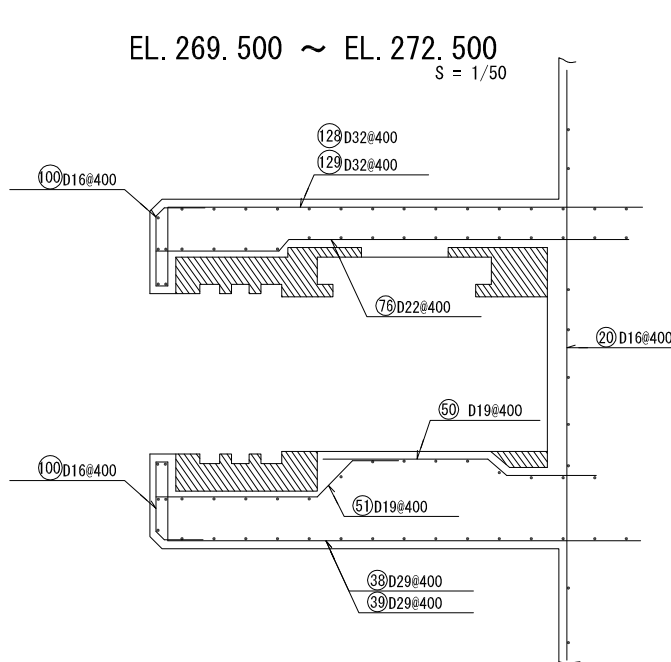
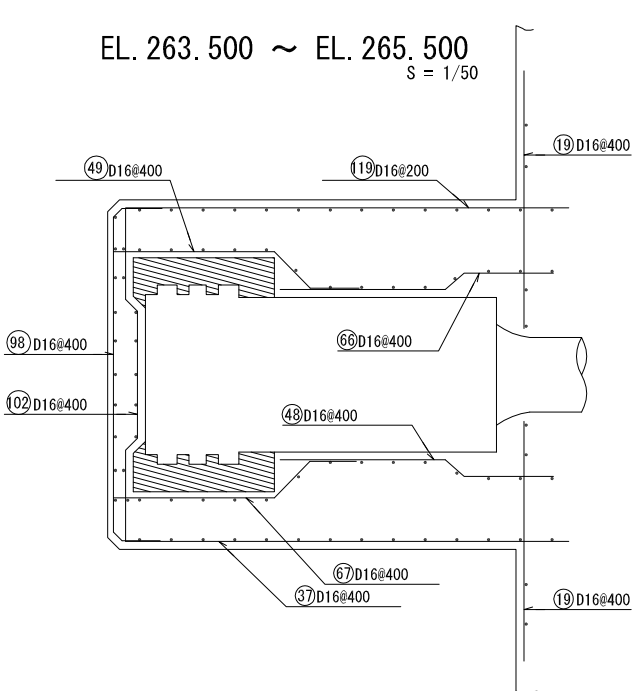
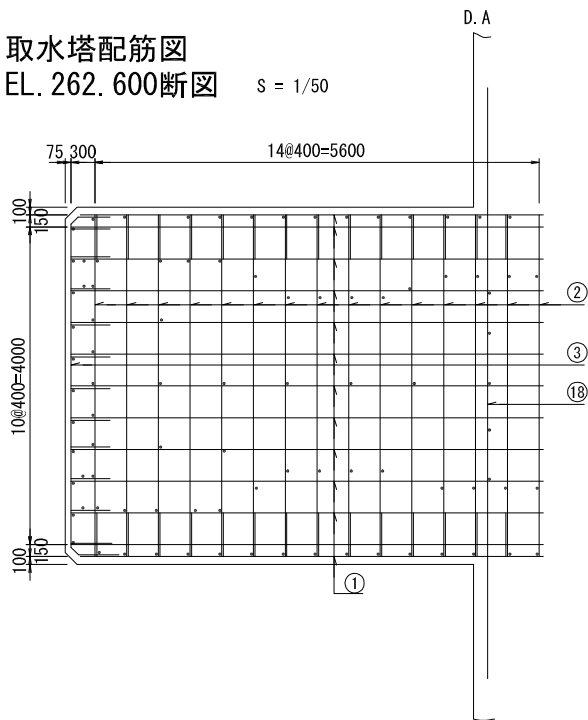
初瀬取水塔図面



|       |                         |      |       |
|-------|-------------------------|------|-------|
| 工事名   |                         |      |       |
| 図面名   | 初瀬水路 取水塔平面              |      |       |
| 作成年月日 |                         |      |       |
| 縮 尺   | 1/200                   | 図面番号 | 25/53 |
| 会社名   |                         |      |       |
| 事業者名  | 独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 |      |       |

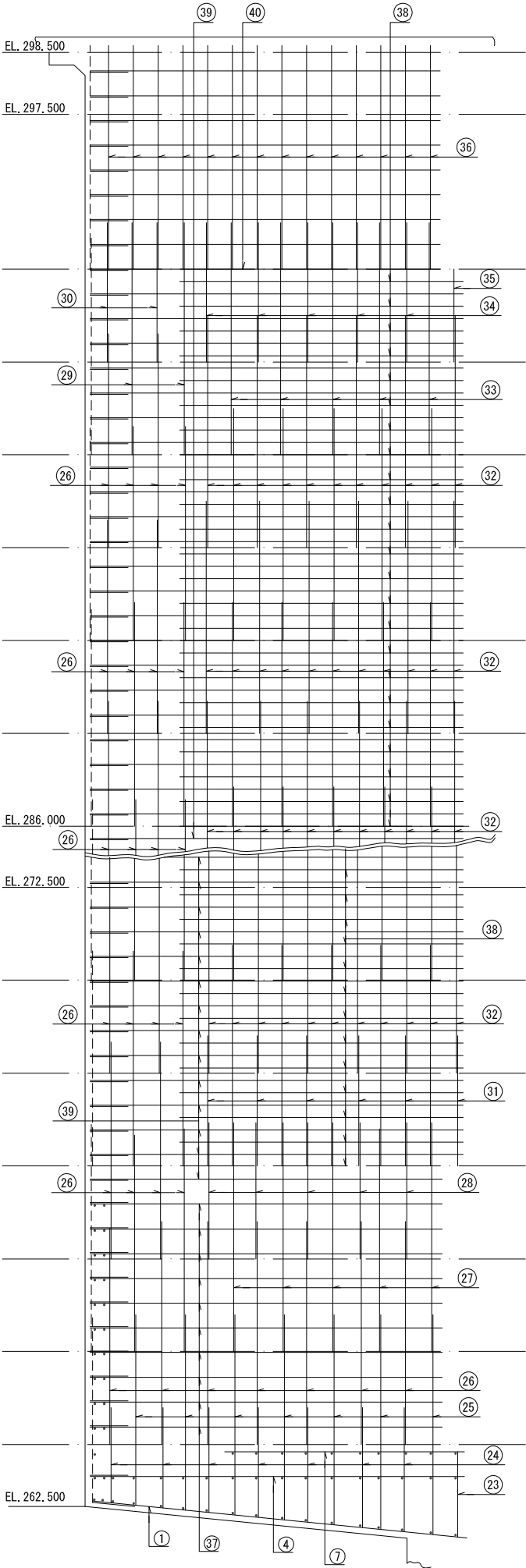
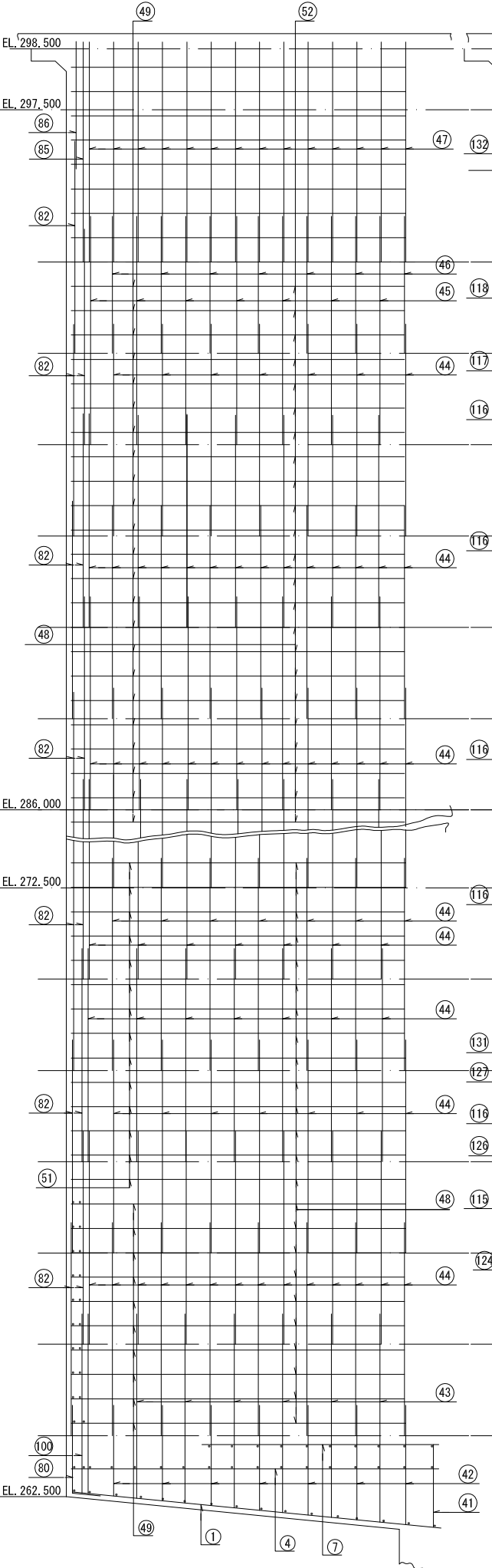
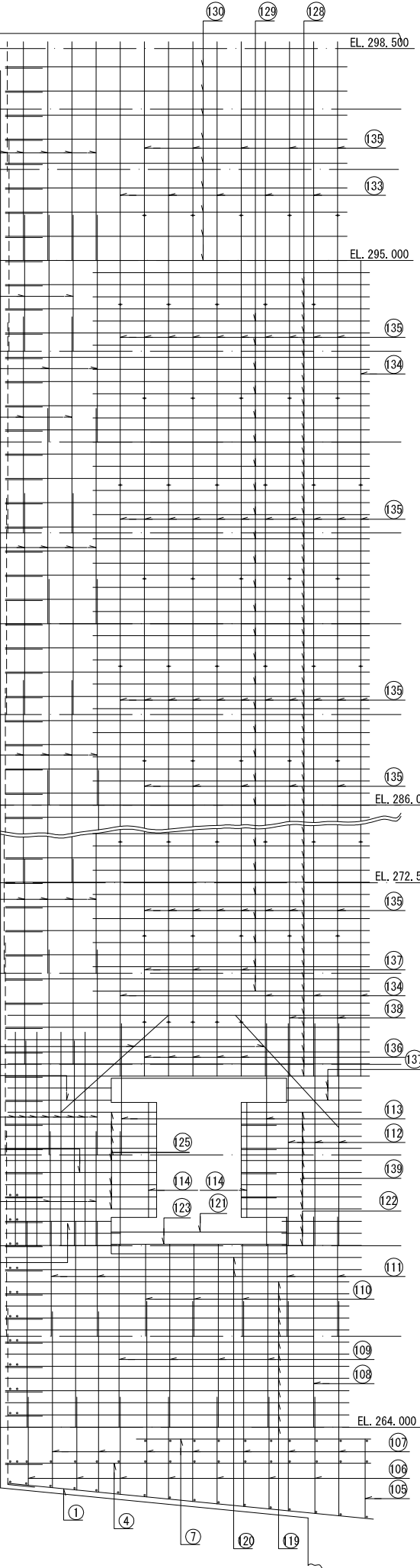
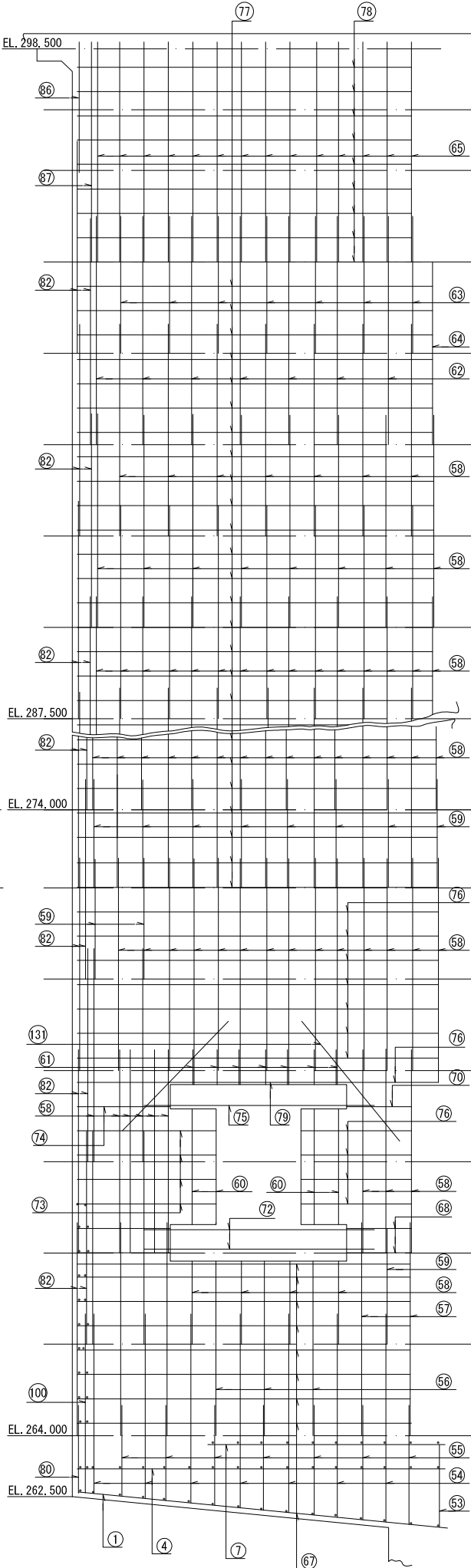
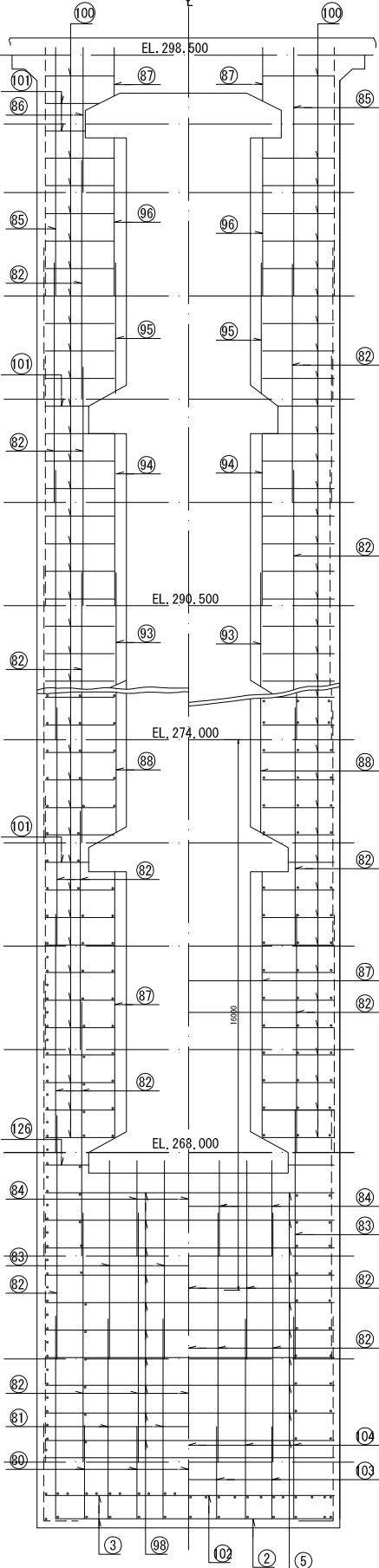


## 初瀬取水塔図面



|                |  |           |  |     |  |     |  |
|----------------|--|-----------|--|-----|--|-----|--|
| 工事名            |  | 室生ダム建設工事  |  |     |  |     |  |
| 図面名            |  | 取水塔配筋図(1) |  |     |  |     |  |
| 設計年月日          |  | 昭和48年 月 日 |  | 図 番 |  | 46  |  |
| 所長             |  | 副所長       |  | 課長  |  | 設計  |  |
|                |  |           |  |     |  | 写 図 |  |
| 水資源開発公団室生ダム建設所 |  |           |  |     |  |     |  |

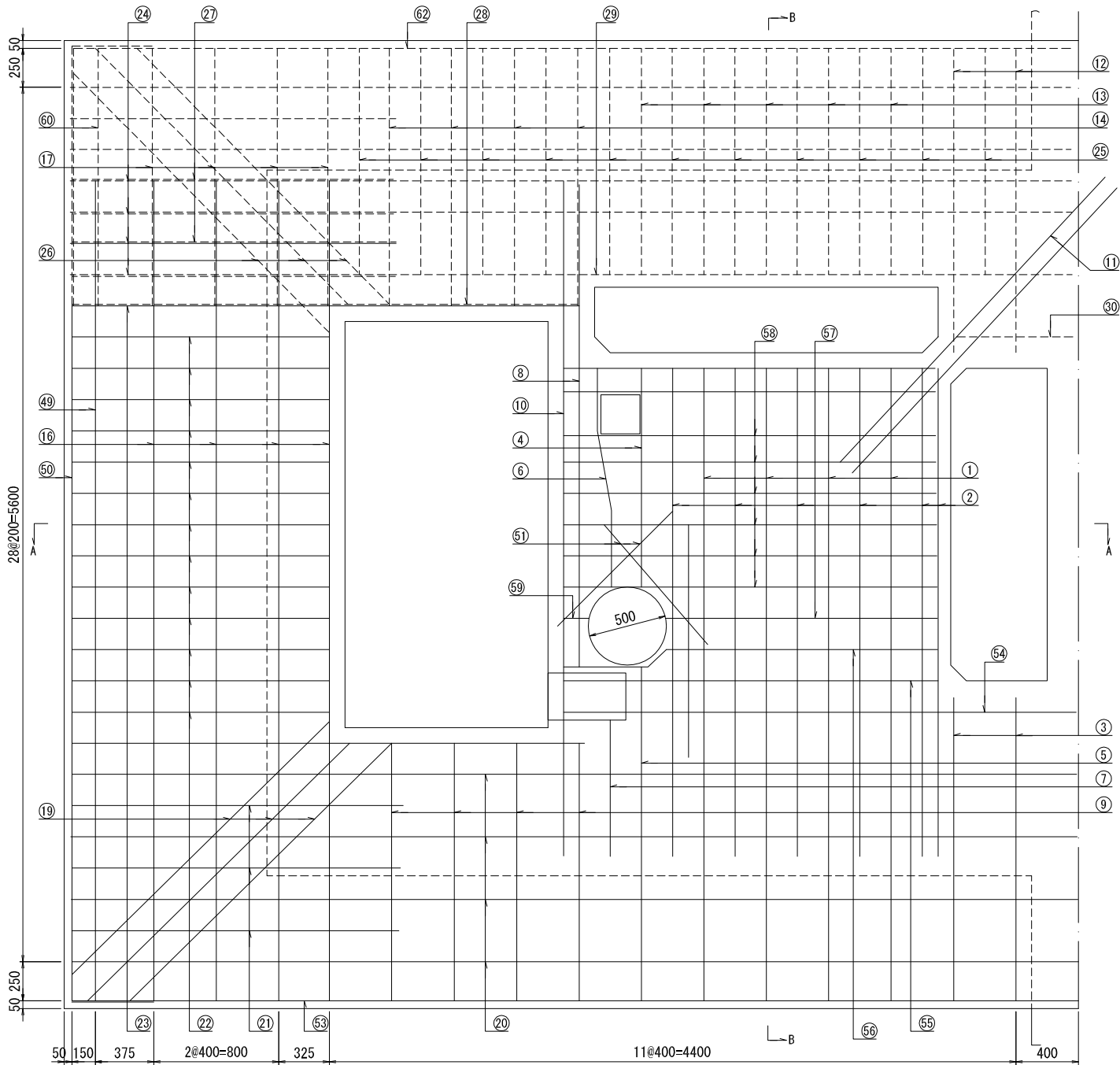
## 初瀨取水塔図面

$$B - B_s = 1/50$$

$$C - C_s = 1/50$$

$$D - D_s = 1/50$$

$$E - E_s = 1/50$$

$$F - F_s = 1/50$$

$$G - G_S = 1/50$$

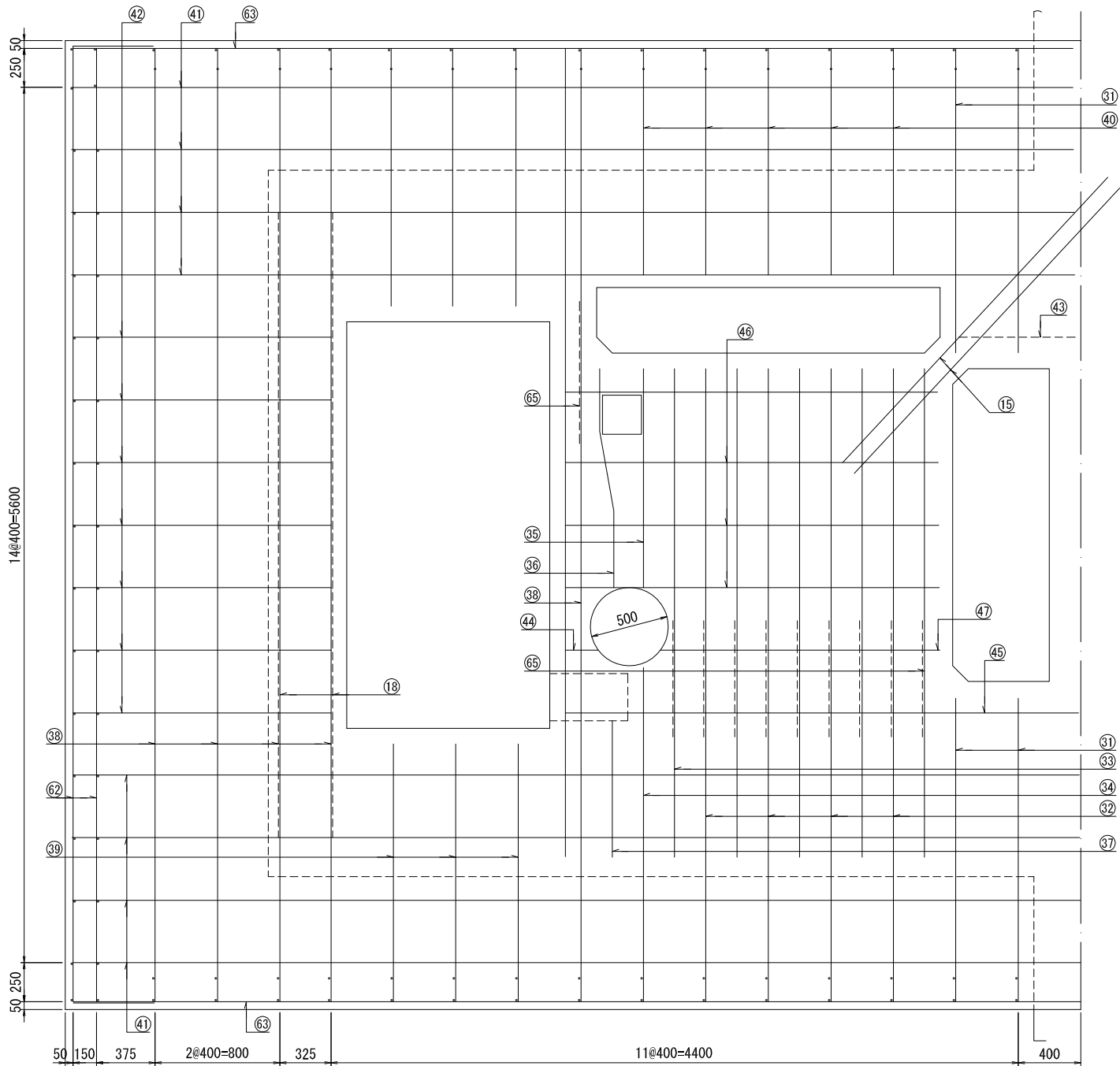
|                |     |           |  |     |  |    |  |
|----------------|-----|-----------|--|-----|--|----|--|
| 工事名            |     | 室生ダム建設工事  |  |     |  |    |  |
| 図面名            |     | 取水塔配筋図(2) |  |     |  |    |  |
| 設計年月日          |     | 昭和48年 月 日 |  | 図 番 |  | 47 |  |
| 所長             | 副所長 | 課長        |  | 設計  |  | 写図 |  |
| 水資源開発公団室生ダム建設所 |     |           |  |     |  |    |  |

初瀬取水塔図面

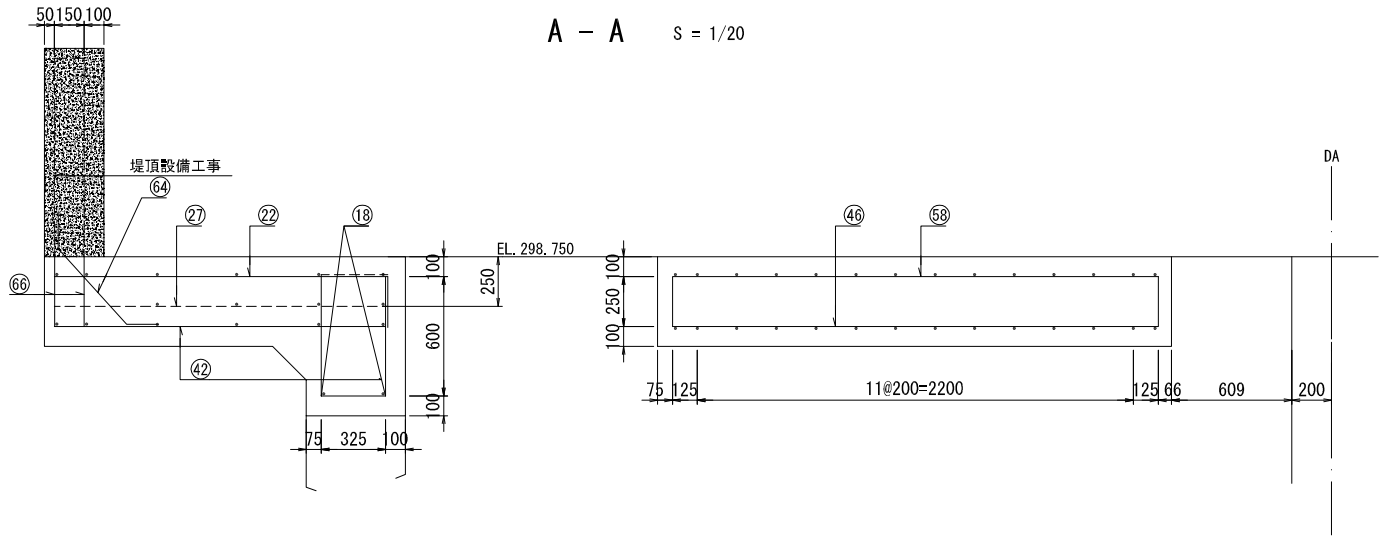
取水塔スラブ上平面図 S = 1/20



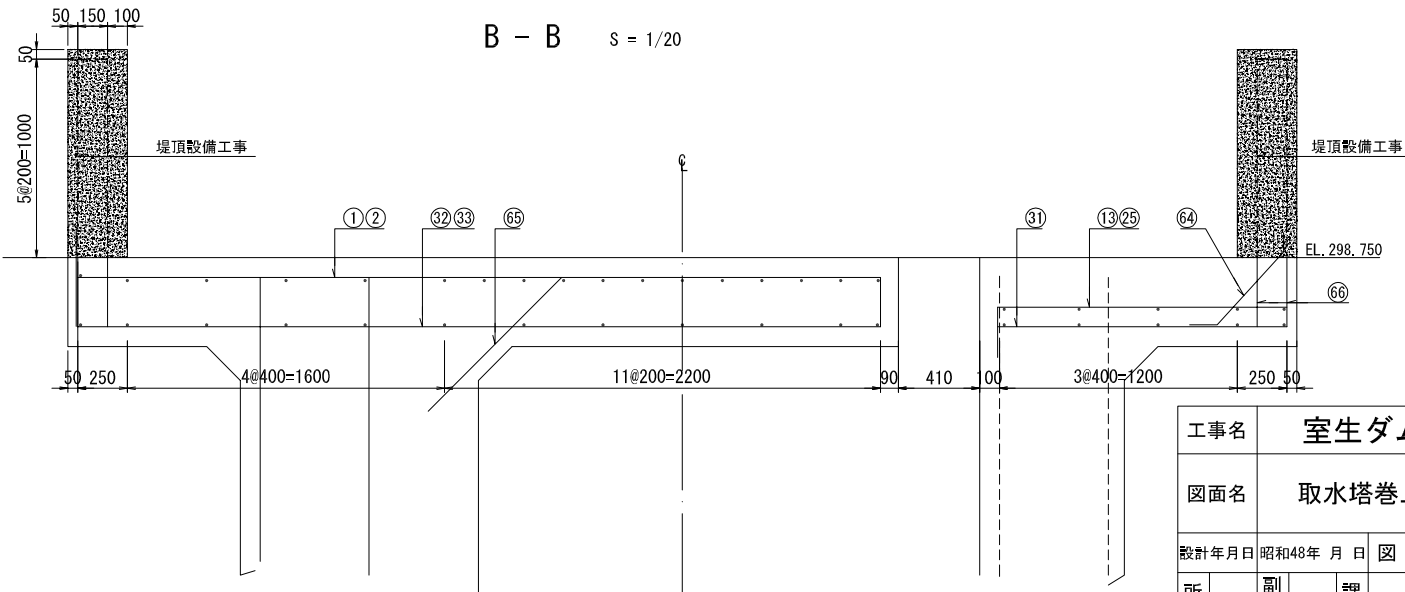
取水塔スラブ下平面図 S = 1/20



A - A S = 1/20



B - B S = 1/20



|                |            |    |    |    |    |
|----------------|------------|----|----|----|----|
| 工事名            | 室生ダム建設工事   |    |    |    |    |
| 図面名            | 取水塔巻上機台配筋図 |    |    |    |    |
| 設計年月日          | 昭和48年      | 月  | 日  | 図番 | 45 |
| 所長             | 副所長        | 課長 | 設計 | 写図 |    |
| 水資源開発公団室生ダム建設所 |            |    |    |    |    |